

# 龍ヶ崎市教育プラン（案）

パブリックコメントによる意見募集の結果について

平成29年2月

龍ヶ崎市教育委員会教育総務課

提出された意見とその意見に対する市の考え方

意見提出期間	平成28年12月20日（火）～平成29年1月19日（木）		
意見提出者数	2名, 1団体	意見件数	24件

No	意見No	意見及び内容	市の考え方
1	1	<p>行政が作るこの種のプランは、概して抽象的で、総論的なものと相場は決まっている。もちろん、最初はそこから始まる。しかし、そこで終わっていいはずはない。重要なのはそのあとに来るはずの具体的な施策である。</p> <p>たとえば、このプランには、数値目標として、英検3級程度の英語力の割合を、現在の37.8%から、60%にするとある。頼もしい限りである。では一体どんな方法を現場に取らせてそれを実現するというのだろうか。その具体案はいつごろ、どんな形で我々に提示してくれるのだろうか。残念ながら、日々、英語を彼らに教えている私に言わせれば、絵に描いた餅としか思えない。</p> <p>そもそも、30年前（私が教え始めた頃）に比べて子供は英語を比べ物にならないほど身近にしている。幼稚園から英会話塾に通っている例など珍しくない。小学校では教科として英語が導入される。にもかかわらず、あのころと英語力が変わらないどころか低下していると感じることさえあるのはいったいなぜなのか。この反省がないから、金と時間を使っている割に効果が出ないのである。</p>	<p>英語力の向上に関する取組について、教育振興基本計画（案）では「外国語活動・外国語指導の充実」として位置付けております。計画に記載している以外の具体的な取組内容につきましては、毎年度、作成する主要施策アクションプランに、今後3年間の事業内容及び事業費等を搭載し、3月を目途に市公式ホームページなどに掲載する予定です。主要施策アクションプランは、社会経済情勢、市民ニーズ、財政状況等の変化等に柔軟に対応するため、毎年度、見直しを行います。さらに、取組結果については、毎年度、事業報告書として作成している「龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書」に掲載し、9月を目途に市公式ホームページなどに掲載する予定です。この報告書には、成果指標に対する実績値も掲載し、計画の進行管理を行ってまいります。</p> <p>また、ご意見のとおり、次期学習指導要領では、小学5年生から英語が教科化され、小学3・4年生へも外国語活動として導入されるなど、英語教育の早期化が図られることが見込まれております。本市では、AETを活用した外国語活動や、英語教育スーパーバイザーからの指導などにより、外国語活動・外国語指導の充実に取り組んできたところですが、今後も、これまでの取組を踏まえ、引き続き、外国語活動・外国語指導の充実に努めてまいります。</p> <p>なお、本市では、平成23年度以降、児童生徒を対象に英語に関するアンケート調査を行っており、「AETとの授業が楽しい」と答えた児童の割合は全体の約9割、生徒は全体の約8割を占めていることから、児童生徒の英語に対する学習意欲は高いものと認識しております。</p>

No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
1	2	<p>現場の先生は忙しい。行政の担当者は現場を熟知していない。それなら、様々なところにいる餅屋に声をかけて、研究会を発足させたらどうだろう。私のような人間はたくさんいるだろうし、退職した元教師の中には現役時には実践できなかったアイデアを今も温めている人がいるかもしれない。きっと子供たちの将来を案じている人が手を上げるはずである。</p>	<p>小中学校での教育内容について、意見 No 1 のとおり、英語教育の早期化が図られることが見込まれております。さらに、道徳教育についても小中学校で「特別の教科」として格上げされる見込みであることから、ご意見のとおり、教職員の多忙化が懸念される所です。</p> <p>一方、本市では平成 15 年度から「魅力ある学校づくり推進事業」を展開しており、その中で地域の人材を活用した授業や高等学校及び流通経済大学との連携などに取り組んでいる所です。</p> <p>このため、外国語活動の充実をはじめとして、小中学校の教育内容の充実を図る観点から、いただいたご意見を参考に、地域と一体となった学校づくりに努めてまいります。</p>
2	3	<p>序章 1 教育プランの策定に当たって 2 ページ 教育プランの策定の背景と趣旨</p> <p>少子化が進行し地域の小学校が閉校になるなか、子育て環境日本一を掲げる本市において、教育行政が果たす役割は大変重要なものと認識しております。今回、龍ヶ崎市教育プランが示されたことは、市民としても龍ヶ崎の教育の目指す方向性が明確になり大変心強く感じております。プランの確実な実行をお願いします。</p>	<p>ご意見のとおり、子育て環境日本一を目指し、さらに子育て応援都市宣言をした本市において、子どもが育ちやすい環境の整備や、出会い・結婚・妊娠・出産・子育て・教育など、各ライフステージに応じた切れ目ない支援の展開は肝要であると考えております。</p> <p>また、本市の教育行政の根幹となる教育大綱を昨年 7 月に定め、その基本理念を「ふるさと龍ヶ崎の現在を担い、未来を拓く人づくり」と定めた所です。</p> <p>このため、子育て環境の充実をはじめとして、教育大綱の基本理念の実現に向け、教育振興基本計画の確実な推進に努めてまいります。</p>
	4	<p>教育振興基本計画 基本方針 1 義務教育の充実 43 ページ 小中一貫教育の推進</p> <p>段階的に小中一貫教育に移行していくと述べられています。基本方針には賛成しますが、どのような一貫教育が龍ヶ崎市の子供たちに適するか、十分なる検討をお願いします。</p>	<p>小中一貫教育については、現在、教育委員会の諮問機関である龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会で審議が行われている所です。</p> <p>また、小中一貫教育の推進に当たっては、保護者の意見も重要であるため、昨年 9 月に保護者や地域の方との意見交換会（龍ヶ崎教育市民会議）を市内 4 ヲ所で開催した所です。</p> <p>このため、審議会での意見や保護者・地域の方の意見を踏まえ、本市の義務教育 9 年間を一貫した教育について、目指す子ども像を明確にし、小中一貫教育に取り組んでまいります。</p>

No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
2	5	43 ページ 少人数指導の充実 市独自に非常勤講師を配置していただいていること大変ありがたいと思います。きめ細かく指導によって子供たちの勉強への不安をなくす手助けをお願いします。	学級編制は、基本的に国や県の基準に従って行われますが、本市は、教科指導の充実を図るため、市独自の非常勤講師を小学校全校へ配置しております。 少人数による指導は、学習内容の定着や学力向上において有効な教育方法の一つであると認識しているため、今後も少人数指導をより充実させ、教育効果を高めてまいりたいと考えております。
	6	43 ページ 学校図書館の充実 スマホやゲームの影響で本離れが心配されています。子供たちに豊かな情操を培うためには、読書が大切であると考えております。学校図書館の充実にさまざまな施策が講じられていることうれしく思います。特に中央図書館と学校図書館の連携を進め学習センターとしての機能が充実することを望みます。	ご意見のとおり、積極的に本を読む習慣、物事を調べる習慣の定着を図ることは、子ども達の豊かな情操を培うほか、基礎的な学力の向上や創造性を育む観点から肝要であると認識しております。 このため、司書教諭及び学校図書館司書の資質向上を図るとともに、新たな図書の購入及び選書・入れ替えなどにより、引き続き、学校図書館の充実に努めてまいります。 なお、教育振興基本計画（案）だけでなく、現在パブリックコメント中の龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第三次）（案）においても、学校図書館と中央図書館の連携を位置付けています。
	7	44 ページ ICT教育の充実 これからの子供たちにとってICTの活用は必須になってきます。市がこの課題に積極的に取り組んでいただいていること大変うれしく思います。教室にインターネットが接続され、さまざまな教育コンテンツが利用できるような環境整備をお願いします。	情報通信技術は、日進月歩で発達しており、現在の情報化社会ではICT機器の活用が必要不可欠であると認識しております。 このような中、今年度においては、馴染小学校及び川原代小学校にタブレット端末及び電子黒板などを導入し、ICT機器を活用した授業が行われています。また、来年度には全ての小学校にICT機器を導入する予定です。 このため、いただいたご意見を参考にICT教育の充実に努めてまいります。
	8	46 ページ シティズンシップ教育の充実 ふるさと龍ヶ崎の将来を担う人材を育成する上で大変有効な施策であると感じております。シティズンシップ教育では子供たちの目で地域を眺め、課題を発見させ、その解決にアイデアを出し合うような体験活動の実施をぜひお願いします。	龍ヶ崎市の将来を担う子ども達に、多様な体験活動や自らが主体的に企画・運営に関わっていく経験は肝要であると認識しております。 このため、今回いただいたご意見を参考に、児童会・生徒会活動の充実を図るほか、こども議会の開催など、子ども達の社会参画への意識を高めるなどの施策を展開してまいります。

No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
2	9	47 ページ 郷土学習の推進 自分たちが育ったふるさと龍ヶ崎の歴史を知ることは、郷土への愛着を育み、将来市外で生活することになっても、いつかは戻ってきたいという意識につながるものと考えます。我が家にも教育委員会が編纂した民俗調査報告書があります。現在・過去・未来を座標軸にして、先人達たちがどのような誇りをもって生活してきたか、そして将来どのように生活していったらよいかなどを大局的に考えられる機会を設定していただければありがたいと思います。	本市には、長い歴史の中で育まれた有形・無形の文化財や歴史的・文化的に価値のある遺産が数多く残されています。 また、学校教育の中でも本市の伝統的な文化に触れることが出来る体験学習や、社会科副読本の活用など、学年ごとに応じた授業を実施しています。 このため、今後も郷土学習の充実を図るとともに、意見 No8 に記載しているシティズンシップ教育の充実を図り、地域への愛着や誇りの醸成に努めてまいります。
	10	52 ページ 龍・流連携事業の拡充 この地に学ぶ流通経済大学の学生を学習支援や学校行事など、さまざまな面で活用することは大きなメリットがあると考えます。協力していただいた大学生への交通費などの経済的支援等を考慮していただければありがたいです。	本市は、「大学のあるまち」として、流通経済大学との連携によるまちづくり、龍・流連携事業を展開しています。連携事業では、小中学生を含む、市民全般を対象とした事業を展開していますが、大学生が小中学校に訪問する際の移動手段が課題の一つであったことから、今年度から大学生の移動手段の確保に努めているところです。 今後も本市及び大学の双方にとってメリットのある取り組みに努めてまいります。
	11	56 ページ 登下校時等の安全確保 通学路の危険箇所の対応を進めていただいていることに安心・安全面から大変ありがたいと思います。一方、安全確保にはマンパワーの活用が重要であると思います。市内の学校の様子をみていると、登下校ボランティアの方々が雨の日も風の日も献身的に子供たちの付き添いをしていただき大変敬意を表します。一方、付き添っていただいている方の高齢化が進んでいるようです。各学校では募集してもなかなかボランティアが集まらないという話も聞いております。市として一括募集・組織の体系化をさらに進めていただけるとありがたいです。	登下校時の児童生徒の安全確保については、地域の方や保護者の方、さらには教職員のご協力・ご尽力により、見守り活動が展開されているところです。 一方、見守り活動をしていただいている地域の方については、ご意見のとおり、高齢化が進行している地区もあると認識しております。 このため、今回いただいたご意見は、通学路等の安全確保の観点から、道路管理者、警察及び学校の関係者で構成する「龍ヶ崎市通学路交通安全推進会議」の中で協議してまいります。
	12	59 ページ 学校給食センターの充実 計画にあるとおり、調理場の一元化等により、食の安全性向上と効率的な運営を積極的に推進していただければとお願いします。	給食センターの一元化に当たっては、業務の効率化の向上はもちろんのこと、高度な衛生管理のもとでの調理により、児童生徒に安全でおいしい学校給食の提供に努めてまいります。

No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
3	13	<p>8 ページ, 43 ページ</p> <p>「(2) 教育をめぐる社会の状況」にあるとおり、社会経済のグローバル化が進展しています。これからのグローバル社会を生き抜いていくために、学校教育においては、グローバル社会、国際社会を生き抜く人材の育成が求められており、児童生徒にぜひ身につけさせたい重要な力だと思います。また、語学力の習得と同時に、国際理解、国際交流の体験、自国文化の正しい理解と主張が必要です。</p> <p>教育プランにおいては、国際理解教育と国際交流体験活動の充実がやや希薄のように見られます。項目立てをしてはいかがかと思えます。</p> <p>また、「③外国語活動・外国語指導の充実」について、義務教育で学んだ英語が、将来国際社会で活用できる力になるよう指導の充実を図ってもらいたいと考えます。休日や市のイベントなどで、AETなどを活用して、子ども達が外国人と楽しく英語で話すことの出来る機会などが作れたら、学習意欲もより高まるのではないのでしょうか。</p> <p>成果指標について、英検3級相当の以上の英語力を有すると思われる生徒の割合について、目標値を二つに分けてみてはいかがでしょうか。具体的には「2年生までに4級相当の以上英語力を有すると思われる生徒の割合〇〇%」と「3年生で3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合〇〇%」に分けることで、学年ごとの習得状況を踏まえた取組が出来ると思えます。</p>	<p>ご意見のとおり、今日の社会経済情勢は、グローバル化の進展により、資本・労働・情報などが国境を越えて活発に移動しております。意見No1に記載しているとおり、次期学習指導要領の改訂に伴い、英語教育の早期化が図られようとしています。一方、子ども達が世界的な視野を持ち、他国の文化や習慣を理解・尊重するとともに、我が国の伝統・文化を愛し、ともに生きる力の育成が肝要であると認識しています。</p> <p>このため、子ども達の語学力をはじめとするコミュニケーション能力や郷土の伝統文化に関する知識を身に付けるため、教育振興基本計画(案)では「外国語活動・外国語指導の充実」「郷土学習の推進」「文化芸術活動の推進」などの取組項目を定めています。</p> <p>また、学校では、外国語活動のほか、異国の文化や生活を学ぶ国際理解教育の学習において、英語に触れる機会を位置付けています。さらに、AETの有効活用として、授業や教材作成への協力だけでなく、学校行事やスピーチコンテスト等でも指導や助言に当たっているところ です。</p> <p>なお、新たな目標値の設定については、「3年生で3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合を60%」の進行管理を行う際の参考にさせていただきたいと思えます。</p>
	14	<p>44 ページ</p> <p>「⑥ ICT 教育の推進」について、児童生徒に分かりやすい授業をするため、各学校の ICT 教育の環境整備を進めるなど、重点的な取組をお願いします。</p> <p>また、ICT 機器の整備と併せて、ICT 支援員を配置することで、学校現場での教育環境の向上が図られるため、併せてお願いします。</p>	<p>ICT 教育の推進については、意見No7のとおりです。</p> <p>今後は、ICT 機器の導入と併せて、ICT 支援員の配置の取組を進めることで、教育環境の充実に努めてまいります。</p>

No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
3	15	<p>44 ページ</p> <p>「⑦教職員の資質及び指導力の向上」について、教職員の指導力の向上に向け、研修体制を整えていただいていることに感謝申し上げます。今後も大量退職者が続く状況の中で、初任者のみならず、若手教員の指導力向上の施策は必須と考えますので、教職員の研修体制の充実をお願いします。</p> <p>また、教職員のインクルーシブ教育への理解や専門性を高めること、特別な教育的支援が必要な児童生徒及び保護者へ適切な指導及び支援等を行う人的な支援も含めてお願いします。</p>	<p>今後の学校教育は、意見No2に記載しているとおり、次期学習指導要領の改訂などに伴い、教職員に求められる指導力が多様化するものと認識しております。</p> <p>また、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い、一人ひとりの教育的ニーズに合った適正な教育支援を行うインクルーシブ教育の推進も肝要であると認識しております。</p> <p>このため、初任者を含む若手教員の研修体制の充実に努めるとともに、インクルーシブ教育の推進に努めてまいります。</p>
	16	<p>47 ページ</p> <p>「⑤郷土学習の推進」について、夏休みに市役所で写真の展示が行われていた「フォトラリー」の取組は、子どもが楽しく郷土を学習することが出来るすばらしい取組と思います。もっと対象施設を増やして、大人も子どもも楽しめるイベントとして推進していただきたいと思えます。</p> <p>また、子どもが、日本の伝統文化・芸術に触れることの出来る機会の確保も求められていると思えます。</p>	<p>郷土学習の推進については、意見No9のとおりです。</p> <p>また、市内の史跡をめぐる、郷土の歴史などを学習する「フォトラリー」の充実を図るとともに、展示場所の拡充にも努めてまいります。</p> <p>さらに、日本の伝統文化・芸術に触れることが出来る機会の確保についても郷土学習の一環として取り組んでまいります。</p>
	17	<p>51 ページ</p> <p>「②小中学校の適正規模適正配置の推進」について、児童生徒数の減少に伴い、小規模校においては教員数の減少や学級数の減少により円滑な学校運営に支障を来すことが起きてきています。特に小規模校の中学校においては、学校行事や学年行事の対応に支障を来したり、部員数の減少により部活の存続が危ぶまれる状況や学校対抗競技の選手選出に苦慮したりするような状況も生じてきています。</p> <p>小中一貫教育を進める中で、龍ヶ崎市適正規模適正配置に関する基本方針に基づく適正規模の学級数となるよう、学区の再編等も考慮に入れた大胆な計画の推進をお願いします。</p>	<p>本市の児童生徒数は、平成8年度の8,516人をピークに減少傾向にあります。平成28年度の児童生徒数は、ピーク時と比較すると2,399人減少しており、今後も少子化の進行により、さらなる減少が見込まれます。</p> <p>一方、市内の小中学校間においては、児童生徒数及び学級数に大きな偏りがあるため、将来を見据え、児童生徒のより良い教育環境の充実を図る必要があると認識しています。また、意見No4にも記載しているように、現在、龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会で、小中一貫教育などソフトの面と適正配置などハードの面からの審議が行われております。</p> <p>このため、学区の再編成などについては、今後、審議会からの答申を踏まえ、新しい学校づくりの取組の一つとして取り組んでまいりたいと考えております。</p>

No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
3	18	51 ページ 「①小中一貫教育の推進」について、中一ギャップの解消の手立てとして小中一貫教育の推進を進めるのであれば、小から中への橋渡しが十分であるかを示した方がよいと思うので、45 ページの「授業がよく分かると肯定的に答えた児童生徒の割合」をもとに、小6から中1の数値目標を設定してはいかがでしょうか。	小中一貫教育の推進については、意見 No4 のとおり、龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会で審議を行っているところです。 今回いただいたご意見については、今後、審議会の審議事項としたり、小中一貫教育を実施する際の参考にさせていただきます。
	19	52 ページ 「②龍・流連携事業の拡充」について、流通経済大学生による学習支援には、体育の授業だけでなく、生活支援などとても有意義な活動となっています。引き続き継続していただければと思います。 また、龍ヶ崎市には、幼・保・小・中・高・大と揃っており、様々な連携を図れる恵まれた教育環境の特色があります。ただ、同じ市内の学校であっても、高校や大学との距離によって、多様な学習機会に差があるのが現状です。具体的施策にあるように、移動手段を確保していただき、機会がなるべく均等になり、増えていきますようお願いします。	龍・流連携事業の拡充については、意見 No10 のとおりです。 また、各小中学校と流通経済大学との連携事業の機会が均等になるよう、児童生徒の移動手段の確保に努めてまいります。
	20	55 ページ 「②教育支援体制の充実」について、子どもたちの問題と考えられる行動等の対応では、未然防止、早期発見・解決が大切だと考えます。その意味で、学校と教育センターとの連携は欠かせません。今後も学校と教育センターの連携を密にした取組をお願いします。	教育センターは、他市町村にはない本市独自の教育施設であり、教職員の資質向上に関する研修会や児童生徒または保護者の教育相談などの事業に取り組んでいます。 今後も教育センターの充実を図るとともに、学校との連携を密にし、児童生徒の健やかな成長に寄与する取組を推進してまいります。
	21	56 ページ 「安全・安心で信頼される学校づくりを推進します」について、現状では、児童生徒の登下校時の見守りは、防犯サポーターや防犯ボランティアの方々のご協力により行われています。しかしながら、高齢化の問題があり、見守りを行ってくれている人が減少しています（年々高齢化を理由に辞めています。）。 このため、見守り活動も含め、登下校時等の安全確保の取組をお願いします。	登下校時等の安全確保については、意見 No11 のとおりです。



No	意見 No	意見及び内容	市の考え方
3	22	<p>58 ページ</p> <p>具体的施策6「学びを支える教育環境を整備します」について、龍ヶ崎市の小中学校の耐震化は、他の市町村に先駆けて取り組んでいただき、いち早く100%を達成してくださったことは、安全・安心な学校づくりのための基盤となる大きなことだと思います。</p> <p>また、冷暖房設備の空調機器も100%設置していただき、学びを支える教育環境を整えるうえで大いに役立っていると思います。</p> <p>今後は、学校施設の長寿命化を効率よく進めていただき、大事に使っていただければと考えます。</p>	<p>本市では、児童生徒の安全・安心の観点から、平成7年度から学校施設の耐震化に早期に取り組み、他の自治体に先駆けて耐震化率100%を達成しております。</p> <p>また、快適な教育環境の整備として、平成25年度に市内すべての小中学校に冷暖房設備の空調機器を設置しており、全国平均及び茨城県平均を大きく上回っているところです。</p> <p>今後は、各小中学校の老朽化が一斉に進行するため、公共施設等総合管理計画との整合を図り、学校施設の長寿命化を推進してまいります。</p>
	23	<p>62 ページ</p> <p>「①幼稚園・保育園（所）・認定こども園と小学校の連携」について、龍ヶ崎市は、小学校ごとに幼保と連絡を取り、情報交換していますが、市町村によっては、教育委員会が情報交換の場を設定しているところもあります。また、情報交換だけでなく、幼保の先生が小学校の授業を見に来たり、小学校から幼保の子どもたちの様子を見に行ったりしているほか、子ども達同士の交流が行われています。</p> <p>幼・保・小の連携及び情報共有は、「小1プロブレム」の解消を含め、とても重要ですので、積極的な取組をお願いします。</p> <p>また、予算も必要となりますが、幼稚園・保育園・認定こども園へ専門員の派遣支援をすることが出来れば、早期に園児への支援が可能となり、幼児教育も充実すると思います。</p>	<p>小学校入学前の園児について、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との連携及び情報共有は、「小1プロブレム」の解消をはじめ、児童が小学校生活を楽しく過ごすに当たり、肝要であると認識しております。</p> <p>このため、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との情報共有の充実を図るため、早期に関係者の会議の開催などに努めてまいります。</p> <p>また、専門員の派遣については、今後の参考にさせていただきます。</p>
	24	<p>74～75 ページ、82～83 ページ</p> <p>「文化芸術の振興」及び「スポーツの推進」について、文化芸術とスポーツとを比べると、文化芸術の満足度が低い結果となっています。文化会館は近隣の施設と比べてもホールの音響が優れていると聞きます。優れた音響施設を活かしソフト面の一層の充実を図ってほしいと思います。また、たつのこフィールドやたつのこスタジアム等を単なる運動施設としてではなく、野外フェス等の文化的行事開催などにも活用していただければと思います。異なった部署間の連携を含め柔軟な発想での企画運営により文化芸術の向上を図ってほしいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、まちづくり市民アンケートの結果では、文化芸術の分野とスポーツの分野を比べると、文化芸術の満足度が低い結果となっています。しかしながら、本市の文化会館は近隣の施設と比較すると、大ホールの音響をはじめ、グランドピアノ（スタンウェイD-274）の設置やスタッフの対応などにより、利用者からの満足度は高い状況です。</p> <p>今回いただいたご意見については、施設の有効活用及び市民の利便性の向上から有効的であると思いますので、関係部署と検討させていただきます。</p>